

個人投資家向け会社説明会

2024年11月29日



(スタンダード市場 9067)

1. 丸運グループの概要

2. 当社の強み

3. 経営戦略（長期ビジョンと第4次中期経営計画の進捗）

4. 丸運グループとESG経営

5. 連結決算（中間期）の決算概要と通期業績予想

6. 株主還元について



1. 丸運グループの概要



会社概要

商号	株式会社 丸運 Maruwn Corporation
所在地	東京都中央区日本橋小網町7-2
代表者	中村 正幸
創業	1892年（明治25年）9月21日
設立	1938年（昭和13年）12月17日
上場取引所	東京証券取引所（スタンダード市場 9067）
資本金	35億5,923万円
従業員数	2,157名（連結）／ 351名（単体）
車両台数	1,298台（連結）／ 56台（単体）
連結子会社数	19社（含海外現地法人3社）



2024年11月1日現在

主要な物流拠点



◇国内拠点：84拠点
(関係会社含む)

◇国外拠点：9拠点
(中国及びベトナム)

◇保有倉庫：39箇所
(国内保有倉庫)

・総坪数 / 約46,000坪

➤内、自社倉庫約34,000坪
全体の約74%となっている

貨物輸送

名称	本店所在地
丸運ロジスティクス東北	山形市
日昭丸運	日立市
丸運産業	胎内市
丸運ロジスティクス関東	江東区
丸運ロジスティクス東海	西尾市
丸運ロジスティクス西日本	堺市
大分丸運	大分市

エネルギー輸送

名称	本店所在地
丸運トランスポート札幌	札幌市
丸運トランスポート東日本	横浜市
静岡石油輸送	富士市
丸運トランスポート西日本	大阪市
近畿オイルサービス	大阪市
北豊運輸	苫小牧市

海外物流

名称	本社所在地
丸運国際貨運代理（上海）	上海市
丸運物流（天津）	天津市
丸運物流ベトナム	ハノイ市

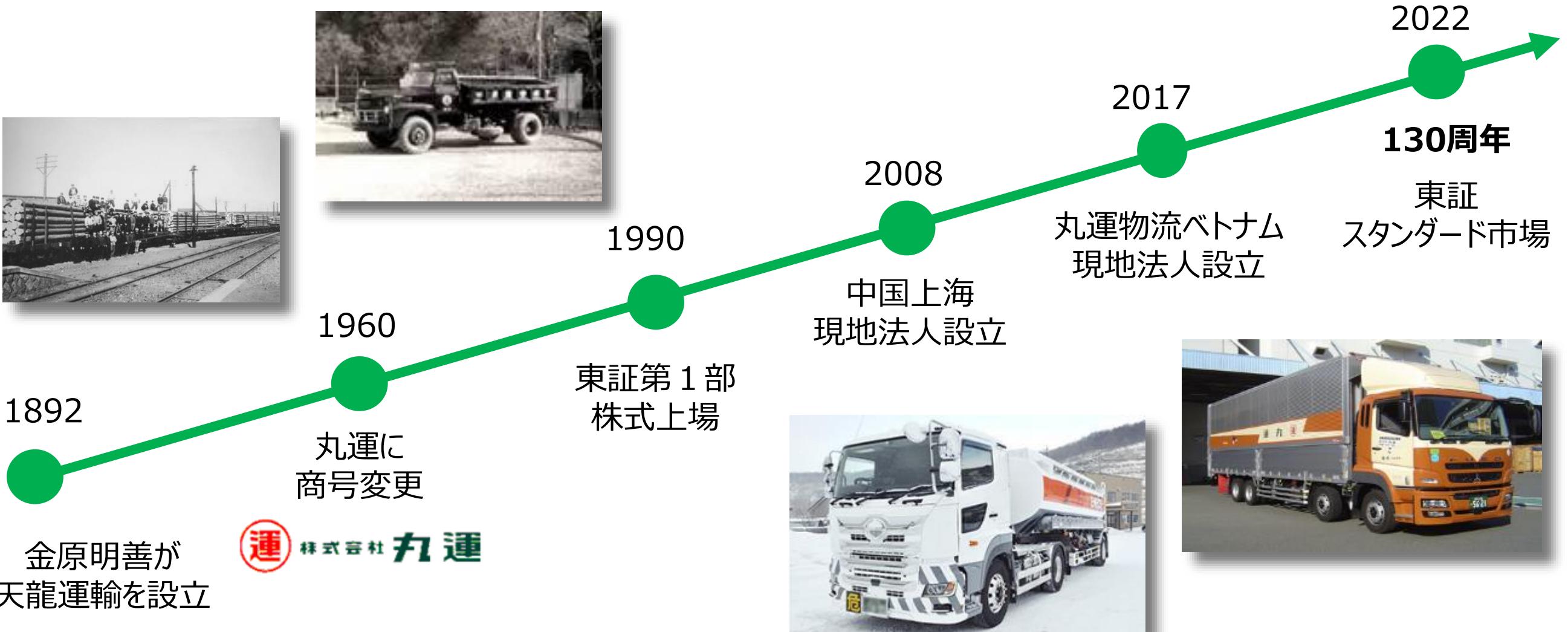
テクノサポート

名称	本店所在地
丸運テクノサポート	倉敷市

コーポレート

名称	本店所在地
丸運サービス	中央区
丸運ビジネスアソシエイト	中央区

「**利他自利**」の精神を実践し、**変革**してきた130年



<丸運グループ経営理念>

● 私たちの使命

お客さまの物流ソリューションを、
最高の品質と創造力で提供し、
社会の発展、企業の繁栄、個人の幸福に貢献します

● 私たちの約束

- ◆ 安全運行、安定輸送、安心配送を最優先します
- ◆ 顧客満足の実現に全力を注ぎます
- ◆ 法令等を遵守し、公平・公正で透明な取引を実行します
- ◆ ステークホルダーとの対話を尊重し、ともに成長します
- ◆ 安全・品質を妥協することなく追求します
- ◆ 個人の知恵と想像力、組織の経験と結束力で課題を解決します
- ◆ 環境負荷の軽減に努め、自然との共生をめざします

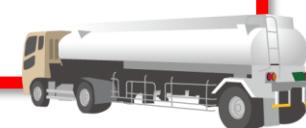
国内外で物流サービスを提供している総合物流会社

貨物輸送



- 区域輸送・鉄道コンテナ輸送・重量品輸送、搬入、据付
- 保管・梱包・リサイクル物流・食品低温物流・構内請負作業

エネルギー輸送



- 石油輸送・L P G輸送・潤滑油・化成品の輸送
- 保管業務・構内請負作業

海外物流



- 海上コンテナ輸送・国際航空貨物輸送・国際海上貨物輸送
- 輸出入通関業務

テクノサポート



- 油槽所等の構内作業に付帯関連する業務



2. 当社の強み



陸運業界における当社のポジション（トラック業界）



株式会社

丸運

順位	銘柄コード	会社名	売上高	営業利益	当期純利益	ROE	時価総額	PER(会予)	PBR	配当性向	配当利回り(会予)	自己資本比率
1位	9147	NIPPON EXPRESSHD	2,239,017	60,098	37,050	4.7%	637,982	15.9倍	0.8倍	71.2%	4.1%	36.1%
2位	9064	ヤマトHD	1,758,626	40,059	37,626	6.6%	591,941	118.4倍	1.0倍	41.9%	2.7%	51.7%
3位	9041	近鉄GHD	1,629,529	87,430	48,073	9.0%	623,970	13.9倍	1.2倍	19.8%	1.5%	21.9%
4位	9143	SGHD	1,316,940	89,204	58,279	10.4%	904,741	15.1倍	1.6倍	54.7%	3.6%	54.3%
5位	9069	センコーGHD	778,370	29,906	15,944	8.4%	230,193	11.9倍	1.2倍	35.7%	3.0%	26.7%
6位	9076	セイノーHD	642,811	23,403	14,561	3.4%	416,849	21.2倍	1.0倍	115.4%	4.0%	59.2%
7位	9065	山九	563,547	35,216	24,379	8.5%	281,733	10.4倍	1.0倍	39.6%	3.9%	53.8%
8位	2384	SBSHD	431,911	19,719	10,056	11.8%	93,931	10.4倍	1.1倍	25.7%	3.0%	27.9%
9位	9025	鴻池運輸	315,029	16,634	11,349	7.9%	149,930	9.1倍	1.0倍	30.4%	3.4%	50.0%
10位	9075	福山通運	287,563	10,448	7,834	2.7%	142,022	17.8倍	0.5倍	38.7%	2.0%	58.2%
~												
26位	9067	丸運	44,992	509	416	1.7%	14,269	19.0倍	0.6倍	62.4%	2.6%	68.9%
~												
33位	9036	東部ネットワーク	10,304	315	78	0.4%	4,647	53.4倍	0.2倍	144.7%	1.8%	81.8%
34位	9073	京極運輸商事	8,414	32	60	1.4%	2,505	29.8倍	0.6倍	40.5%	1.2%	54.2%
35位	9087	タカセ	8,190	171	305	4.2%	2,391	23.9倍	0.3倍	22.9%	1.5%	75.4%
36位	9040	大宝運輸	7,675	250	102	1.5%	2,690	8.2倍	0.4倍	73.2%	2.8%	67.0%

※株価：11月22日時点

130年以上の経験と知識により、高品質な物流ソリューションを提供

- 多種多様な貨物の取扱実績がある経験豊富な貨物輸送事業
- 安全品質を最優先としたエネルギー輸送のスペシャリスト
- 物流業務のアウトソーシング先として最適な戦略的物流パートナー



貨物輸送/トラック車両



エネルギー輸送/ローリ車両

充実したネットワークにより高品質な国内外一貫物流サービスを提供

- 北は北海道、南は九州・沖縄まで日本全国を網羅
- 充実した海外ネットワークで、日本と変わらない細やかで高品質のサービスを提供



羽田京浜物流センター外観



芝浦物流センターの港湾風景

食料品、重量品、危険物等に至るまで、最適な物流サービスを提供

- 多種多様な事業免許を保有し、さまざまな物流シーンに適用
- 専門知識の豊富な人財が、お客さまの物流ニーズを高品質で実現
- 多温度帯・危険物・毒劇物および保税倉庫などを保有し、あらゆる物流ニーズに対応



鉄道コンテナ専用トラック



重量物運搬用トレーラー

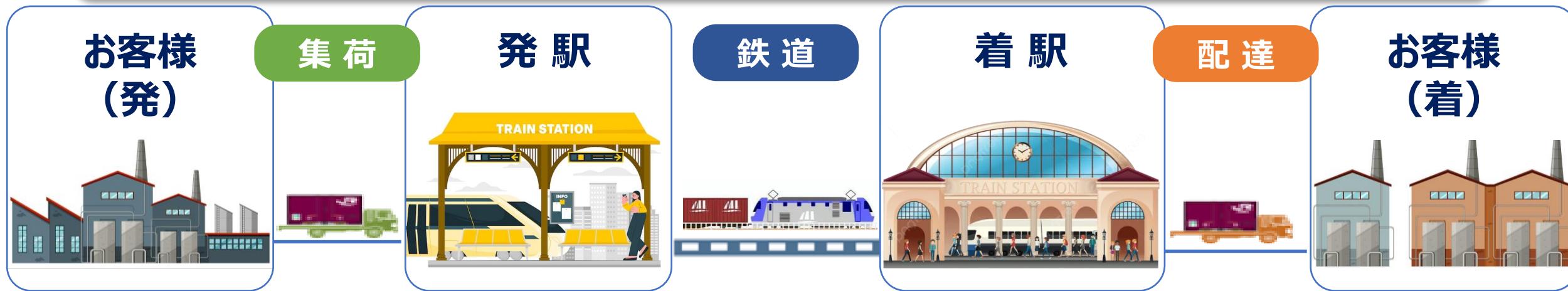


燃料油専用ローリー車

集荷から配達まで一貫した環境にやさしい鉄道輸送サービスを提供

- 鉄道による物品運送に伴って、貨物の積み下ろし・集配・運送取り扱いなどを行う事業

コンテナ1個ごとの「貸切り」、「複合一貫輸送サービス」を提供します



鉄道コンテナ専用トラック



J R 貨物専用列車



鉄道コンテナ専用トラック

ENEOSグループとの安定的なビジネス関係

～アジアを代表するエネルギー・素材企業グループ～

伸銅品



フレキシブルプリント
基板用電解銅箔



非鉄金属製品
保管・輸送



石油製品
化成品・潤滑油
保管・輸送

ENEOSガソリンスタンド



ENEOS水島製油所

豊富な経験と確かな技術で工場移転から機械の搬出入を提供

- 重量品の運搬・搬入・据付・解体・撤去などあらゆるニーズに対応
- 専門的な知識と技術を備えたスタッフが総合的なサービスを提供



重量品搬入工事事例①



重量品搬入工事事例②



3. 経営戦略

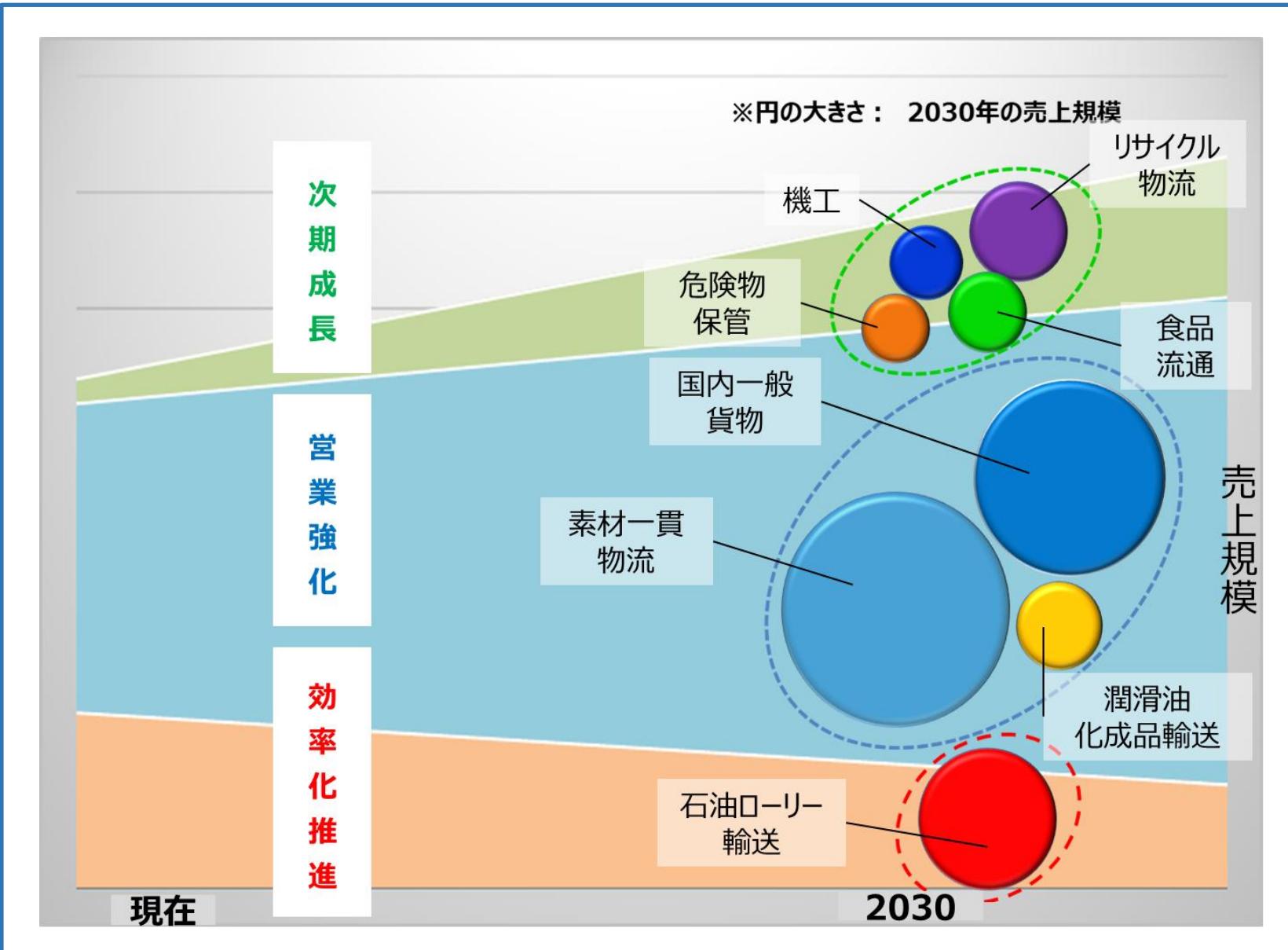
(長期ビジョンと第4次中期経営計画)



2030丸運グループのありたい姿

- ◆ 貨物輸送とエネルギー輸送の両輪経営を継続し、高いコスト競争力と提案営業力を有する物流エキスパート企業となることを目指します。
- ◆ そのために、国内一般貨物を基盤として、素材の国内外一貫物流を強化すること、今後市場成長が見込まれるリサイクル物流分野、機工分野、食品流通分野及び潤滑油化成品等の危険物保管分野への積極的な投資を実行することにより成長を追求します。
- ◆ また、減少していく石油輸送については、安全を確保しつつ効率化を推進します。

成長戦略



2030経営指標

▼売上高：600億円以上
▼経常利益：20億円以上

2022-30 投資計画

▼250億円 (9年間)
維持更新：130億円
営業強化：60億円
次期成長：60億円

第4次中期経営計画

- コロナ禍等による顧客動向変化への対応
- アフターコロナに向けた事業・経営基盤の強化

- 長期ビジョン実現に向けた基礎固めと種まき
- 2024年問題等物流企業の課題への適切な対応

- 長期ビジョンに掲げた投資案件の回収と収益拡大

長期ビジョン実現に向けた基礎固めと種まき

1. 提案営業力の強化

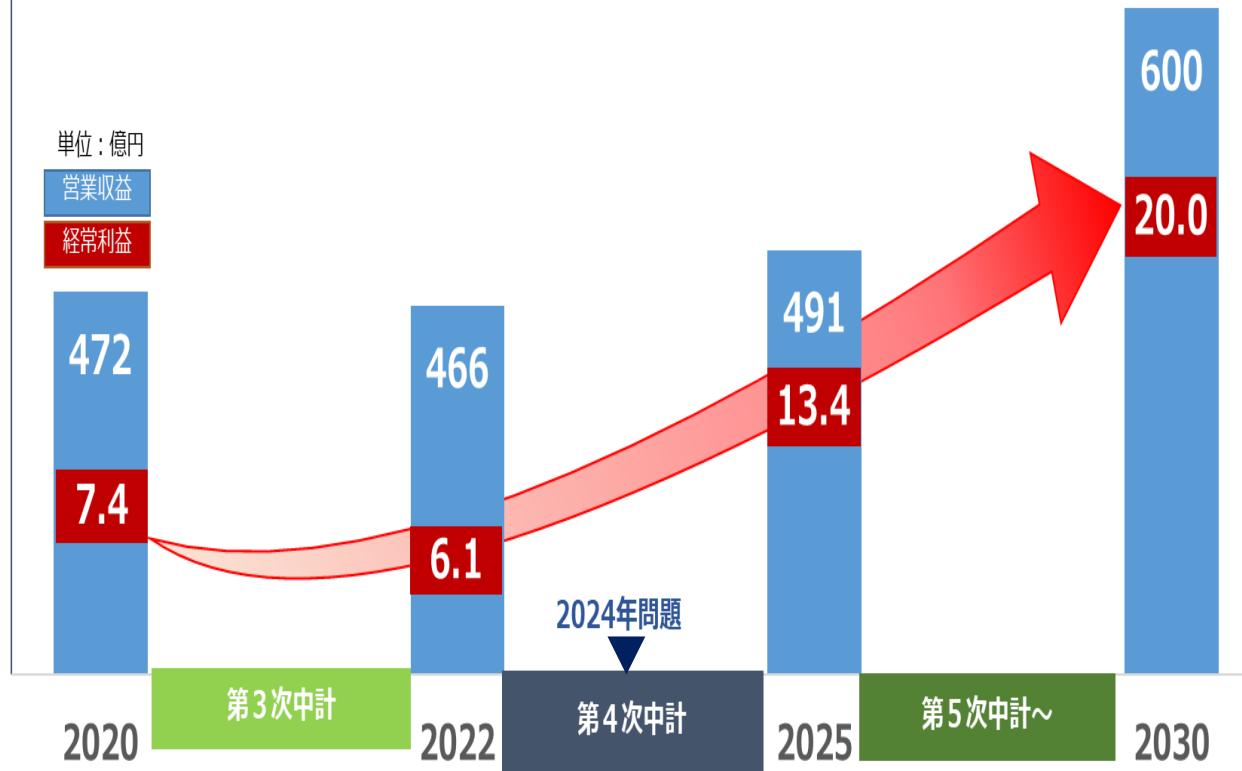
- 素材関連メーカーとの関係を一層密にし、当社の強みを活かしたタイムリーな物流提案
- 日本・中国・ベトナム拠点の連携によるエリアをまたいだ一貫物流

2. コスト競争力の強化

- 組織改革による業務効率化を推進
- 基幹システムと連動した在庫管理・作業効率化のサブシステムを導入

3. 次期成長分野拡大の種まき

- リサイクル分野と機工分野の拡大のためM&Aや資本参加を能動的に実行※
- 危険物倉庫の建設を計画



※M&A/出資による損益への影響は収支計画には織り込んでいない

ベトナムでSANCOPACK社との資本業務提携締結

経緯	現地企業とパートナーシップを構築し、事業の拡大を図る方針
内容	ベトナム国内を中心に数多くの顧客を抱え技術力や営業力に定評のある物流梱包会社と提携
今後の見通し	梱包から物流の一環ワンストップ物流サービスを提供することで事業の拡大を目指す



調印式の風景



SANCOPACK社の皆さま



梱包作業の風景

冷凍食品包装（フィルム）の回収・リサイクル実証実験に参画

当社は、アマタ株式会社、株式会社イトーヨーカ堂、TOPPAN 株式会社、株式会社ニチレイフーズの4社が開始した実証実験に参画

▼回収・リサイクルイメージ

ゴールイメージ ▶ “冷凍食品パッケージ”の循環モデル構築

食品包装の水平リサイクルを目指し、**サーキュラーエコノミー**を実現する

今回のフェーズ

冷凍食品と
親和性が高い
樹脂加工品

サーキュラーエコノミーの取り組みにおける具体的アクションを起こし、
冷凍食品パッケージの
資源循環モデル構築の課題抽出を行う

将来的に目指すゴール



パッケージへの
再商品化
水平リサイクル

樹脂
加工

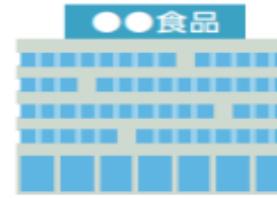
選別・粉砕・
洗浄・
再生樹脂化

製造

販売/
回収

収集
運搬

当社参画



I R活動の強化（HPリニューアル、SNSの開始）

■HPリニューアル



NEW [リニューアルのポイント]

改善点

- ・従業員の写真を増やし、親しみやすい企業イメージを演出。
- ・アクセス数を分析した上で、内容・レイアウトを変更し、サイト内の動作を簡易化。
- ・内容の修正に時間をかけないためのシステムを導入し、タイムリーな情報発信を実現。

狙い

- ・求職者（学生・中途）のサイト訪問数の増加。最終的にはエントリー数の増加。
- ・社員への情報発信の強化。
- ・新規顧客獲得および既存顧客の深耕。
- ・知名度・ブランドイメージの向上。

デザイン

- ・ロゴ・フォントや色の配置で明るいイメージを基調。コンセプトとして「若々しさ」「爽やかさ」「躍動感」

こだわり①

トップページにおける若い躍動感の演出

こだわり②

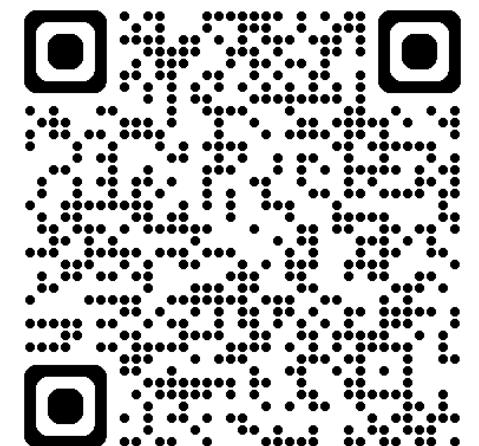
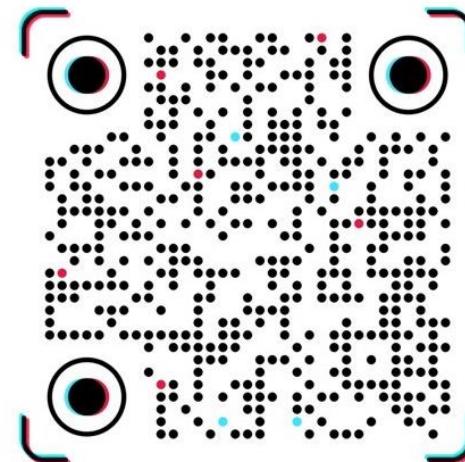
全面的にリニューアルした採用ページ

こだわり③

階層を減らし、複雑な導線を取り除いたIR情報

■SNS開始

親しみやすい企業であることをアピール
求職者との相互理解を深めて人材確保を目指す



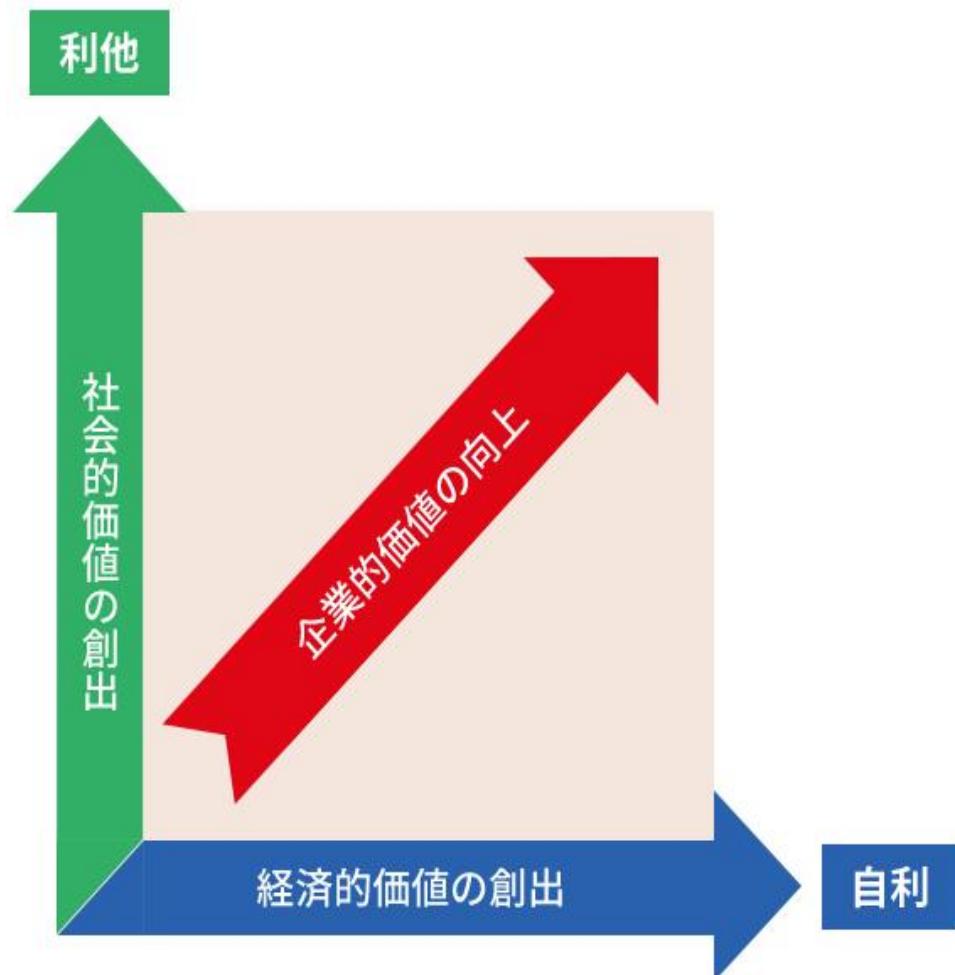


4. 丸運グループとESG経営



創業理念の 精神を受け継いで

丸運グループが取り組むべき 最優先課題



■ 脱炭素社会の形成

- CO₂排出量を2019年度比20%以上削減

■ 環境負荷の低減

- CO₂排出量の少ない鉄道輸送・内航船輸送を推進

■ コンプライアンスの徹底

- コンプライアンス研修の充実により従業員のコンプライアンス意識を徹底

■ 運輸安全の向上

- 重大事故件数0件/年を達成

■ 労働安全衛生の向上

- 労働災害0件/年を達成

■ ダイバーシティの推進

- 女性採用比率50%以上維持
- 女性管理職の割合を10%以上向上
- 障がい者法定雇用率2.5%を維持・向上

グループの考え方⇒人は**財産**と考え、“人材”ではなく「**人財**」と表現

■育児・介護休業取得のハンドブック作成

制度の活用を促すため、規則を読むだけではわかりにくい関連する諸制度をわかりやすく解説。

■ワークショップを開催

育児中男性社員、短時間勤務制度利用社員、管理職（両立社員の上司）を対象に、実際に育児を経験している社員およびその上長の意見を取り入れることで、多様な人材が活躍できる職場環境の整備を行う。

■エンゲージメントサーベイの実施

エンゲージメントサーベイにより当社の現状を定量的に把握し、エンゲージメントを高める施策を検討。

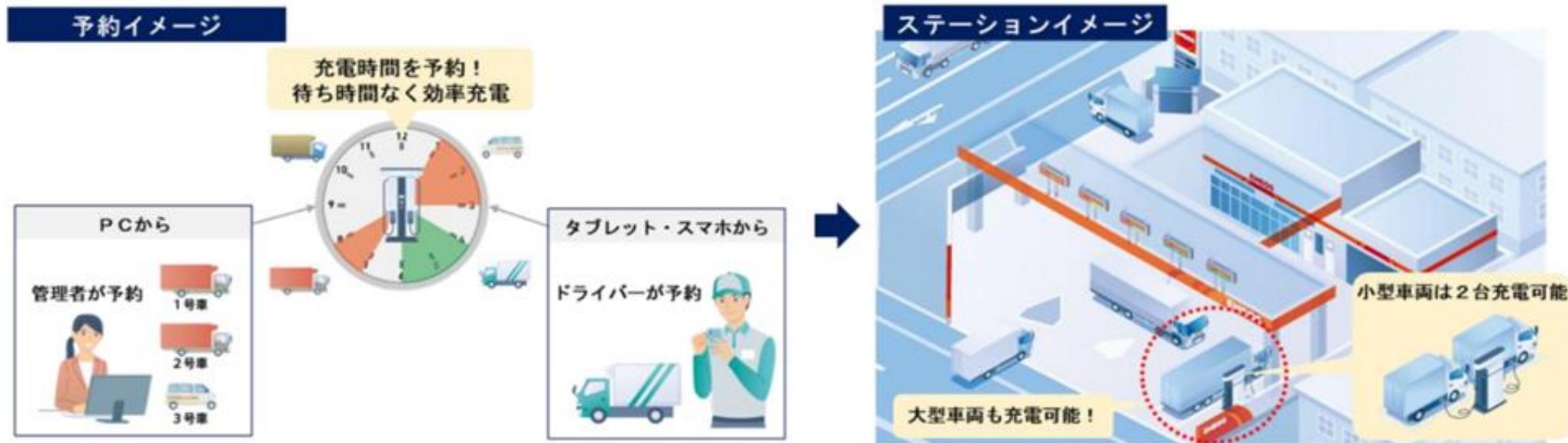
エンゲージメントの向上により社員のパフォーマンスが向上し、かつ定着率が高まる。

（諸施策の効果を定量的に把握するため）



EVトラック対応の共用充電ステーション実証実験参画

当社は、ENEOS株式会社が開始した、EVトラックに利用可能な商用車向け共用充電ステーション実証実験に参画



共用充電ステーションの利用イメージ

本取り組みに参加することにより、EVトラックの普及拡大に貢献し、脱炭素社会の形成の一助に繋がることを期待します

丸運グループセーフティドライバーコンテスト実施

丸運グループは、事故削減活動並びに11月開催の「安全・品質月間」の安全意識向上活動の一環として、題記コンテストを実施しました。

今後も継続して、原点に立返り運転技能だけでなく安全作業レベル向上にも努めてまいります。

開催日： 2024年10月5日（土）

会場： UDトラックス株式会社 UD ExperienceCenter（略称UDEEC）



コンテストの様子①（直線走行）



コンテストの様子②（縦列駐車）



表彰者3名と中村社長



5. 連結決算（中間期）の 決算概要と通期業績予想



連結決算① PL (損益計算書)



株式会社

丸運

(百万円)	24/3期			25/3期			前期比
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	増減
営業収益	10,989	11,182	22,171	11,307	11,261	22,568	397
営業利益	103	84	187	243	253	496	309
(営業収益比)	(0.9%)	(0.8%)	(0.8%)	(2.1%)	(2.2%)	(2.2%)	
営業外収益	55	29	84	54	19	73	△ 11
営業外費用	6	12	18	6	6	12	△ 6
経常利益	152	101	253	292	265	557	303
(営業収益比)	(1.4%)	(0.9%)	(1.1%)	(2.6%)	(2.4%)	(2.5%)	
特別利益	19	15	34	8	257	265	231
特別損失	0	45	45	2	13	15	△ 30
親会社株主に帰属する当期純利益	99	26	125	187	322	509	384

※百万円未満は切り捨てしております。

連結決算② (セグメント別損益)

貨物輸送事業

営業収益 **11,091**百万円

前年同期比 $\Delta 1.5\%$ 

経常利益 **238**百万円

前年同期比 165百万円増 

エネルギー輸送事業

営業収益 **7,747**百万円

前年同期比 $+4.3\%$ 

経常利益 **159**百万円

前年同期比 97百万円増 

海外物流事業

営業収益 **2,768**百万円

前年同期比 $+7.4\%$ 

経常利益 $\Delta 7$ 百万円

前年同期比 13百万円増 

テクノサポート事業

営業収益 **943**百万円

前年同期比 $+6.5\%$ 

経常利益 **57**百万円

前年同期比 31百万円増 

その他事業

営業収益 **17**百万円

前年同期比 $+9.9\%$ 

経常利益 **110**百万円

前年同期比 4百万円減 

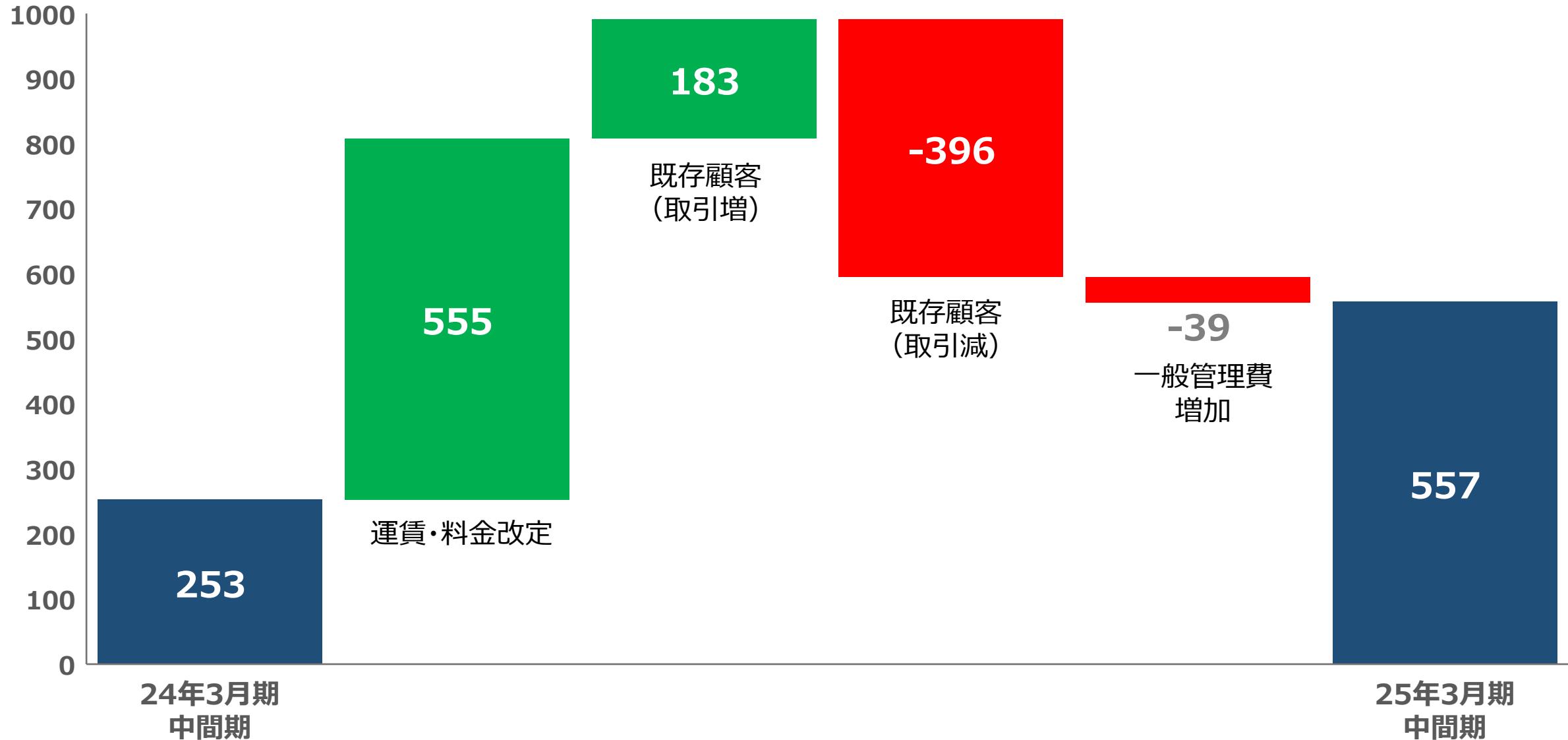
經常利益推移分析（前年同期比）



株式会社

丸運

(単位：百万円)



連結決算③ BS・CF

BS

(単位：百万円)

	24/3末	24/9末	前期比		24/3末	24/9末	前期比
流動資産	8,916	8,877	△ 39	流動負債	6,951	6,246	△ 705
固定資産	27,969	27,378	△ 591	固定負債	4,929	4,759	△ 170
有形固定資産	23,689	23,502	△ 187	負債合計	11,881	11,005	△ 876
無形固定資産	851	672	△ 179				
投資その他の資産	3,428	3,203	△ 225	純資産合計	25,004	25,251	247
資産合計	36,886	36,256	△ 630	負債純資産合計	36,886	36,256	△ 630

※百万円未満は切り捨てしております。

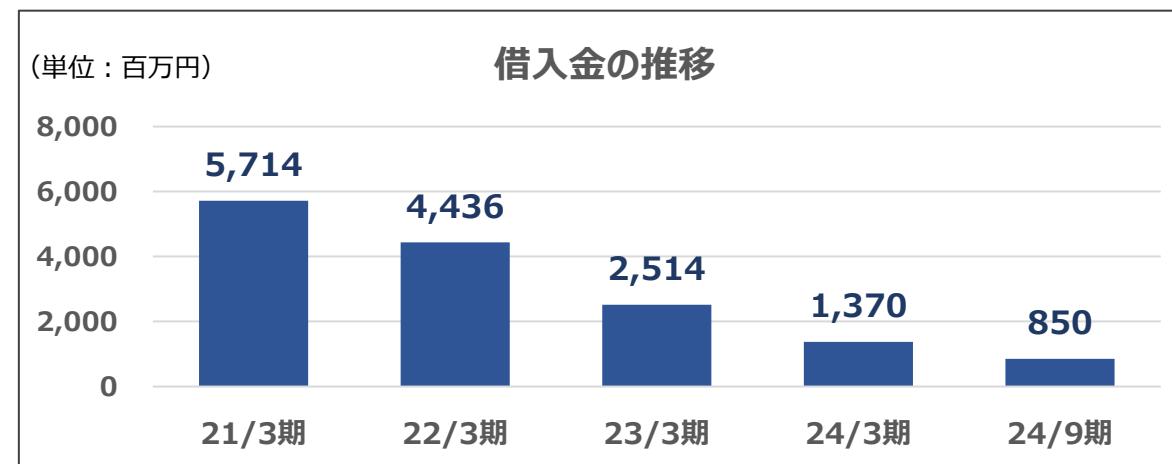
自己資本比率 67.1% 68.9% 1.8%

CF

(単位：百万円)

	23/9期	24/9期	前期比
営業CF	1,167	1,288	121
投資CF	△ 804	△ 409	395
FCF	363	879	516
財務CF	△ 743	△ 671	72

※百万円未満は切り捨てしております。



業績予想（2025年3月期）



株式会社

丸運

(百万円)	24/3期			25/3期（予想）			前期比
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	増減
営業収益	22,171	22,821	44,992	22,568	23,500	45,300	308
貨物輸送	11,262	11,171	22,433	11,091	11,109	22,200	△ 233
エネルギー輸送	7,430	8,181	15,611	7,747	8,053	15,800	189
海外物流	2,577	2,557	5,134	2,768	2,632	5,400	266
テクノサポート	886	899	1,785	943	927	1,870	85
その他	15	11	26	17	13	30	4
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	増減額
経常利益	253	451	704	557	453	1,010	306
貨物輸送	73	△ 9	64	238	252	490	426
エネルギー輸送	61	391	452	159	181	340	△ 112
海外物流	△ 21	△ 44	△ 65	△ 7	△ 3	△ 10	65
テクノサポート	26	23	49	57	39	96	47
その他	114	90	204	110	△ 16	94	△ 110

※百万円未満は切り捨てしております。「その他」の事業は、損害保険代理業・事務代行業務等であります。

資本コスト・収益性の分析

直近4年の推移



P B R (倍)

0.30

0.27

0.33

※2024/9月期 0.57

※PBRは、各期末時点の株価で算出



6. 株主還元について



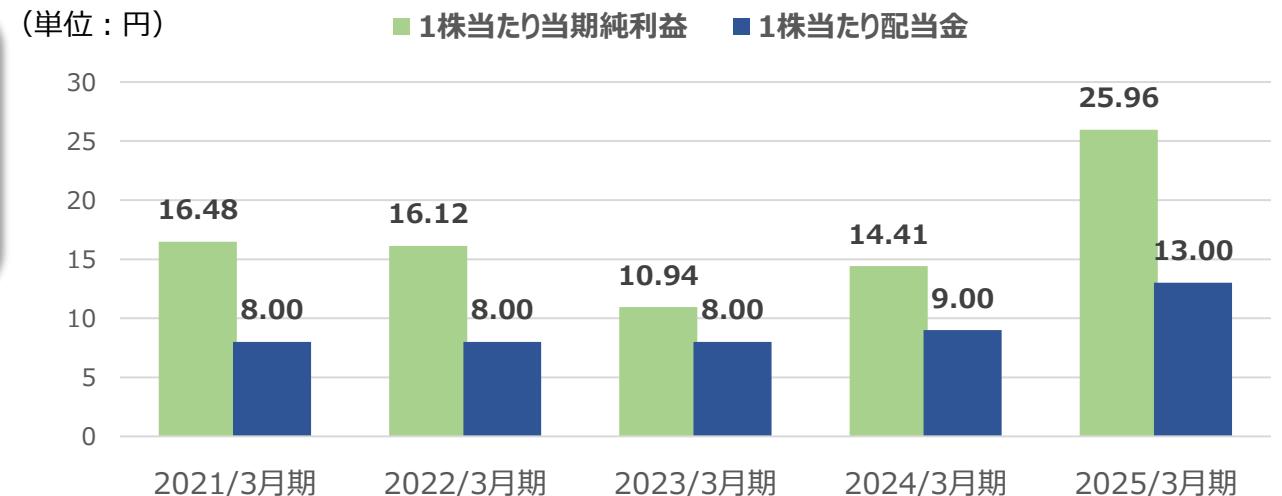
昨年公表した「資本コストや株価を意識した経営の実現」に向けた対応 連結配当性向50%以上・下限8円/株を基本方針

配 当

1株当たり	2021/3月期	2022/3月期	2023/3月期	2024/3月期	2025/3月期 (予想)
年間配当金 (円)	8.00	8.00	8.00	9.00	13.00 ▼特別配当3円含む
配当性向 (%)	48.6	49.6	73.1	62.4	50.1

■ 配当利回り
 (11月実績)
2.6%~3.0%

1株当たり
 当期純利益と
 年間配当金の
 推移



丸運グループに関する情報

丸運グループウェブサイト <https://www.maruwn.co.jp>

- ◆丸運グループに関するプレスリリース、経営計画、会社情報等については、当社ウェブサイトをご覧ください。
- ◆当社ウェブサイトでは、「個人投資家の皆さまへ」というコーナーを設けております。当社グループの経営戦略および事業計画等について、より分かりやすくご説明しています。

IRメール配信サービスのご紹介

- ◆IR情報→IRメール配信サービスからメールアドレスをご登録ください。
- ◆適時開示情報など丸運グループの最新のIR関連情報を配信いたします。





- 本資料は、丸運グループの事業内容等に関する情報の提供を目的とするものであり、当社株式への投資を勧誘するものではありません。
- 本資料に記載した業績予想、見通しおよび事業計画等は、本説明資料の作成時点において入手可能な情報に基づいており、その正確性および完全性を保証し、また約束するものではありません。
- 業績予想、見通しおよび事業計画等は、今後、予告なく変更されることがあります。

問合せ先：株式会社丸運 広報・IR部
TEL 03-6810-9476/FAX 03-6810-9645